



太陽の子保育園 2023年8月号

8月の園だより

毎日暑い日が続きます。そんな暑さを味方につけ、子どもたちは毎日プールあそびや夏野菜の収穫など、夏ならではの体験を思いっきり楽しんでます。

先日のSUNSUNまつりでは、多くの方にお越しいただきありがとうございました。久しぶりのフル開催となりましたが、おかげさまで楽しく無事にSUNSUNまつりを終えることが出来ました。

夏の身体は、おとなも子どもも、かなりの体力を消耗します。だからこそ、いつも以上に「食事・睡眠・休養」が大切になります。早寝・健康に留意して、楽しい夏にしてください。

予定変更のお知らせ(らいおん組)
らいおん組の保育参加・懇談会の実施日を11月16日(木)に変更させていただきます(当初予定日の11/22が松林小の就学時健診と重なったため)。

がしせ
ひよこ組担任保育士の皆美紀が8月21日より育休から復帰します。

8月の予定

- 3(木) 音楽指導(幼児)
- 4(金) 避難訓練
- 21~25 身体測定
- 25(金) お誕生日会
- 28(月) 体育指導(幼児)
- 31(木) プール納め(予定)

9月の予定

- 1(金) 防災集会・引渡訓練
- 6(水) 調理保育(くま)
- 8(金) 流しそうめん(幼児)
- 11~15 身体測定
- 15(金) 敬老の日会(らいおん)
- 21(木) 音楽指導(幼児)
- 22(金) お誕生日会
- 25(月) 職員園内研修
- 25(月) 体育指導(幼児)
- 28(木) 運動会総練

よいことと悪いことはどうやって教える?

「よくわかる発達心理学」渡辺弥生著(ナツメ社)より



赤ちゃんから幼児期になると、親もしつけについての意識が強くなり、子どもを叱ってしまう場面も増えてくるかもしれません。しかし、「叱る」ことは本当に有効な方法でしょうか?

◆しつけとは?

そもそも「しつけ」と「叱ること」は違うものです。しつけとは、「できないことを叱る」ことではなく、「生活動作や礼儀作法、規則、規範等を教える」ことです。「〇〇したらダメ」ではなく、「〇〇しようね」と教えていくのが、しつけです。

また、その場だけ言い聞かせられればよいわけではなく、本来の目的は、子どもが社会で生きていくうえで、「自分自身で判断して行動する力」を身につけることです。きつく叱って単に言うことを聞かせるだけでは、この力は育ちません。

◆理由を説明して具体的に教える

では、どのようにすればよいのでしょうか? それは、具体的なアドバイスをしてあげることです。「叱る」のではなく「教える」ことで、子どもは自

分の行動を改め、その場の経験から学ぶことができるようになります。

たとえば、おもちゃの取り合いで、友達をたたいたなら、「たたいたらダメ」の後に、「たたいたら痛いよね。たたかないで「貸して」って言おうね」などと言いつけることです。親の知恵をちょっと授けてあげるのです。「〇〇してごらん」「〇〇するといいよ」「〇〇しようね」など、具体的にどうすべきか教えれば、子どもはごく自然に行動することができます。

危険な行動に対しても「ダメ!」「やめなさい!」と注意するだけで、「なぜダメなのか」「やるとどう危険なのか」を説明しないと、子どもはそれを知る術がありません。親からの説明があってはじめて、子どもはその理由を学ぶことができます。

このような「説明的・誘導的なしつけ」が効果的であることは、これまでの心理学の研究でも実証されています。

しつけの3つのタイプ

ホフマン(Hoffman)によると、しつけには3つのタイプがあるといえます。このしつけの3タイプは長い期間にわたって実際に調査されており、「説明的・誘導的なしつけ」が思いやりを育てるうえで最も効果的であることが実証されています。

1 力によるしつけ

頭ごなしに怒ったり、体罰を与えるなど、力によって子どもの行動を制する。子どもの罰に対する恐れを利用してしつけ。

子どもは「怖いから」やめるが、「怖い人」がいなければやってしまうという態度になる。



いずれも即効性はあるが、弊害が大きい。具体的に教えてもらっていないので、善悪の判断を心の中に深く刻み込めない。

2 愛情の除去によるしつけ

よいことをしたときは「あなたが好き」と喜び、悪いことをしたときは「そんなことをする子は嫌い」というように、愛情や承認、サポートを与えない方法。「親から見捨てられるのでは」という子どもの恐れを利用してしつけ。

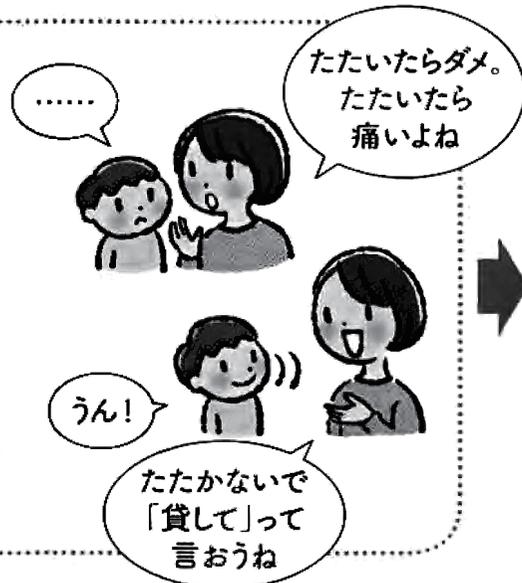
親に好かれようと、その場では言うことを聞かすが、親の顔色を見て動くようになる。



3 説明的・誘導的なしつけ

守らないと、どのような困った事態が起きるのか、なぜそうすることが必要なのかを、子どもが理解できるように繰り返して説明するしつけ。

繰り返し教えてもらううちに、心の中にしっかり刻み込まれていく。また、この方法は、子どもの優しさや思いやりを育むことにもつながる。



即効性はないが、しつけとして最も効果的。